

令和7年度 第2回 地域クラブ活動推進に係る地域ミーティング 記録

令和7年8月30日（土）

川口市立青木会館3階 会議室

1 開会

挨拶（教育政策室長）

- ・5月16日に国の有識者会議により、最終とりまとめが行われた。令和8年度から令和13年度が、改革実行期間になった。
- ・少子化も進んでいる。今はよいかもしれないが、10年度、20年後を見据え、子供たちのために持続可能な環境を整備しなければならない。

2 事務局説明

資料に基づき説明

3 モデル事業報告

(1) TIDA 音楽企画（合唱）

資料に基づき説明

- ・2020年結成、子供たちが歌を歌う機会を失うことに危機感を感じてコロナ禍時に結成。
- ・月1回の活動。小学2年から高校生まで参加。年1回の発表会に出ることをメインとして活動。
- ・月1回の活動だけに、1回の活動は、充実した活動にしている。発声練習に加え、リトミックを取り入れていることが大きな特徴。プロの生演奏を聴く機会もある。
- ・参加者からは、友人が増えた、合唱部が廃部になってしまったが、音楽隊があつてよかった、音楽への興味関心がより高まった、などの声が多数あった。
- ・課題として、参加者を増やしたい。学校の協力が欲しい。歌う喜び、生の歌を聴く機会を増やしたい。社会貢献活動を増やすこと。音楽を通じて子供、大人、地域をつなぐ、社会をつなぐことをしたい。

質疑応答

- ・モデル事業同士でのかけ持ちは可能か。
→（事務局）今回のモデル事業では受け付けていない。しかし、今後本格的に地域展開が実施される際は、かけ持ちも許可することになると考えている。

(2) 芝スポ一般剣道クラブ（剣道）

資料に基づき説明

- ・週2回稽古を行っている。モデル事業に申し込んだ経緯について。①市内中学校の顧問の剣道経験により、学校間の実力差があること。②学校事情（会議等）により、稽古量の減少 今年度より、年間を通してのモデル事業を行っている。
- ・昨年度、モデル事業を申し込んだが、落選してしまったために活動を見直した。基本的には、競技力向上を目指している。中学校部活動の補完が目的。現在34名。3回目以降参加者数は減少しているが、3年生が引退した影響。
- ・課題は、周知が不十分であったこと、「部活アプリ」の活用。活動場所を広くすること。

質疑応答

- ・防具は毎回持ってきてもらっているのか。
→毎回持ってきてもらっている。送迎も許可している。

(3) S Project.B.B (バスケットボール)

資料に基づき説明

- ・優秀な指導者が多数いることがクラブの強み。インフラも強い。活動は、月1回。平均参加率は、55%。現在まで4回開催。
- ・成果として、生徒が前向きな感想を持って参加してくれている。陸上部に在籍している生徒もいる。課題は、レベルが高すぎて、初心者にとっては苦しい環境になってしまった。途中から参加しない生徒もいた。
- ・課題として、指導者からは、部活動との兼ね合いがあげられた。選手の取り扱いと勘違いされてしまっているように感じている。広報による周知が不足していたこと。クラブはサッカーも行っているため他競技との兼ね合いも視野に入れている。

(4) 株式会社ルネサンス (様々なスポーツにつながるトレーニング)

今回、発表予定であったが、諸事情により急遽欠席。事務局より発表する。

- ・フィジカルトレーニングを中心に活動。様々な部活動に参加している生徒が参加(3名)現在、参加を希望している生徒が増加している状況。詳しくは、資料を参照。

(5) 追加連絡 (事務局)

- ・今回、3つの団体に発表していただいたが、本年度は13の団体がモデル事業に参加している。各団体ともホームページやインスタグラムなどで活動の様子を発信しているので、是非ご覧になってほしい。

4 グループディスカッション

テーマ 「子供たちが地域でスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる環境整備」

【どんな地域クラブや環境が整備されるとよいか】 【それぞれの立場でできることは何か】

出てきた意見等 (A~D グループをまとめたもの)

- ・顧問教諭とクラブ指導者の連携ができるとよい。
- ・公費の補助。給与として、しっかりと出せるとよい。
- ・中高連携で9年間。
- ・競技力向上とレクリエーション重視の活動の棲み分け
- ・夏場の活動場所。地域クラブは、エアコンが使えず、活動が制限される。
- ・課題：平日の部活動が終了後、クラブ活動になるときの移動が困難。休日の活動の指導者は、確保できても、今後、平日の活動がクラブ展開されていくと指導者の確保が困難になるのでは。ボランティアなのか有償なのかといったことも大きい。
- ・活動場所の確保が課題。現在、クラブが自分達で活動場所を確保しているが、市がしっかりと行うことが必要ではないか。
- ・5地区で活動する際に、地区ごとに競技力の差が生まれるのではないか。
- ・施設の使用について、現在は教員が行っているが、今後はクラブの指導者が行うことができるのか。
- ・部活をやりたいと思っている教員と地域クラブの指導者の連携が必要。指導者の研修が必要。

- ・家庭の負担が増加することが課題になるのでは（防具、高価な楽器）
- ・KCC（仮）の保険を広範囲に。
- ・活動場所を、広範囲に細分化できるとよい。
- ・企業の協力を得る必要がある。市が企業の協力を得られるようがんばってほしい。
- ・活動場所の確保が困難なので、見える化（夜間開放・予約システム・団体の独占状況の防止）できるとよい。
- ・この会でできたつながりを大切にし、より広い活動ができるとよい。